

スクール Memory

せいせいこう 県立済々黌高校

建学の精神「三綱領」

卒業後も人生の指針に

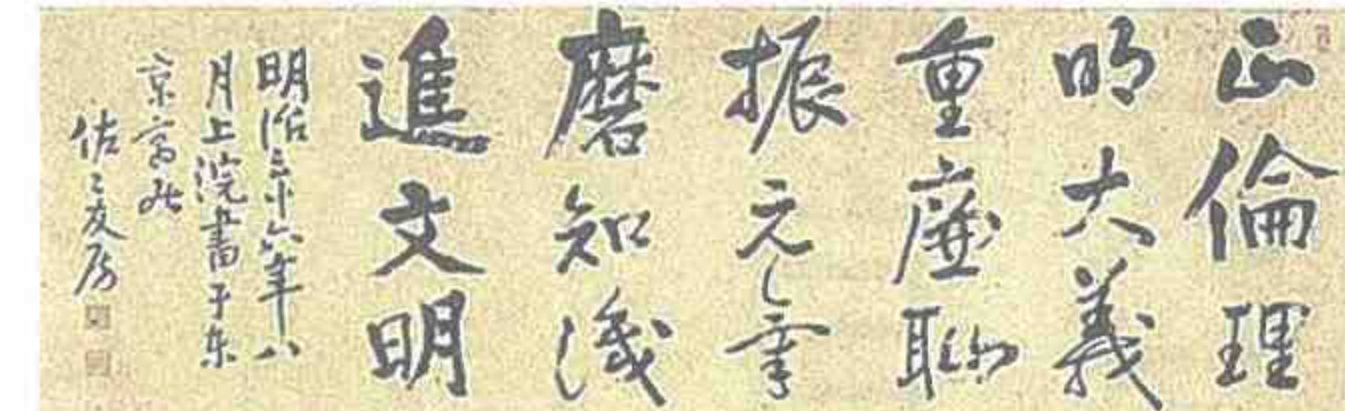
「正倫理 明大義(倫理を正し) 大義を明らかにす」。3月1日、済々黌高体育館で行われた卒業式。卒業生は校歌斉唱の前に、胸をそらすようにして大きな声で「三綱領」を唱和した。

三綱領は、1882年(明治15年)の創立とともに制定された建学の精神だ。「重廉恥 振元氣(廉恥を重んじ) 元氣を振るう」「磨進文明(知識を磨き) 進文明(知識を磨き) 規則の第

一章通則の最初に三綱領がうたわれ、「遵奉しない者は入校を許さず」と明記されている。三綱領は各教室に掲示され、生徒たちは始業式や終業式などの節目に、応援団のリードで唱和する。8日の入学式でも、川上校長が三綱領に触れ、精神は受け継がれていく。



①卒業式で三綱領を唱和する卒業生(3月1日) ②佐々友房が揮毫(きこう)した三綱領(学校要覧から)



「三綱領が人生の指針になっている」と話す卒業生も多い。同窓会幹事長で、高校時代は応援団長だった今井政文さん(60)もその一人。唱和を先導するのは「名誉なことだった」と振り返る。

姜尚中・県立劇場館長(65)も卒業生。三綱領が定められた明治時代を、数々の改革や刷新が行われた反面、伝統に回帰する動きもあった時期ととらえ、現代と重ね合わせる。グローバル化や技術革新などで、無限に変化する現代。「一方で、自分が回帰

学校データ

生徒数1230人。1882年(明治15年)、佐々友房や飯田熊太らが三綱領の「三育主義」を掲げて創設した。96年、山鹿、八代、天草の3分校が設立され、それぞれ鹿本、八代、天草高につながっている。1900年に分割されて第一済々黌、第二済々黌となり、県立に移管。翌年、それぞれ県立中学済々黌、県立熊本中学校(現熊本高)と改称した。48年、県立済々黌高となった。進学校として知られるが、春夏11回、甲子園に出場している野球部(優勝1回)をはじめ、部活動も盛ん。熊本市中央区黒髪2の22の1。



トピックス

環境先進国のドイツで研修

SGHに指定で済々黌高は2014年3月、文部科学省が創設した「スーパーグローバルハイ」。「まず身の回りの環境を好きになることが重要で、それこそ自主的、主体的に行動していけると思った」などと感想をつづった。(田上賢祐)



このページに掲載した写真を実費でお分けします(提供写真は除く)。問い合わせは092-715-5955か、最寄りの販売店へ。

次回は県立阿蘇中央高校